IRANAME

イラナメ

女性と家庭

イランの女性と家族の物語



編集後記

ここ数十年、イランの女性はさまざまな社会分野でますます重要な役割を担うようになり、教育、医療、経済、政治、スポーツ、芸術、環境保護において目覚ましい成果を上げています。女性の参加の増大は、立法上の措置、政府の取り組み、そしてさまざまな分野における平等な機会と安全を確保することを目的とした社会政策によって支えられてきました。大学入学での優位性から医学での活躍、知識ベースの企業経営から国際的な賞の受賞まで、イランの女性は各分野でレジリエンス、革新性、卓越性を示してきました。イラン政府もまた、法的枠組み、政策、資金援助プログラムを実施し、女性の権利と福祉を支援することで、社会保障の確保に向けて重要な措置を講じてきました。社会保障の保証、雇用機会、医療へのアクセス、意思決定プロセスへの参加がすべて、憲法上の保護、立法行動、的を絞った資金援助を通じて強化されてきました。これらの取り組みは、女性のエンパワーメントを促進し、生活のあらゆる側面への女性の完全な統合を確保するというより大きなコミットメントを反映しています。イラン社会の中心には家族があります。社会的な価値観、伝統、日常生活を形成する根本的な制度です。イランの家族は文化的・宗教的な伝統に深く根ざしており、世代間の強い絆、相互支援、敬意を重んじています。政府の政策は、社会プログラム、経済的支援、法的保護を通じて家族の絆を強化しようとしてきました。特に家族という単位の中での女性の権利に重点を置いています。結婚、子育て、家族のダイナミクスをめぐる議論は、イランのより広い社会的な景観を理解するための核心的なテーマであり続けており、今号の「イラノラマ」においても重要なテーマとなっています。

カリ・アナグノシ！ クリサンティ・パルツァナキ

目次

4 イランの文化と文明における女性と家族の位置づけ
6 今日のイラン家族
10 科学と教育におけるイラン女性
11 保健・衛生・医療におけるイラン女性
12 イラン女性の政治・社会参加
14 イラン女性の経済参加
17 政治・権力・意思決定におけるイラン女性
19 スポーツにおけるイラン女性
20 芸術とメディアにおけるイラン女性

28 環境保護におけるイラン女性の役割
34 現代イラン女性の目を通してファリサ・ネクーマネシュ・ラード氏インタビュー

イランの文化と文明における女性と家族の位置づけ





人間の自然な思考の中で、家族は神聖で貴重な位置を占めています。しかし残念なことに、現代においてさまざまな国々では、近代化の変容と統治モデルにおける経済・政治の支配の影響のもと、家族という制度は変容と脆弱化を経験しており、家族の人間的な定義さえも変わってしまい、多くの国の法律では、あらゆる形態の共同生活が家族とみなされるようになっています。歴史的資料によると、イランの家族は常に、婚姻という神聖な制度、父と母の立場の維持、配偶者選択における年長者への敬意などの価値観に従ってきました。今日、現代のグローバルな挑戦と変化がある程度イランにも影響を与えていますが――婚約・結婚における個人主義の影響や出生率の低下など――イランと西洋では家族のあり方に構造的な違いがあると言えます。イランでは父・母・子どもからなる完全な家族を重視し、政策もその方向に形成されています。一方、西洋諸国では同じような見方はなく、子どもを持つ人々のあらゆる共同生活形態が家族と定義され、すべての生活モデルが受け入れられています。

イスラム共和国憲法の多くの条項、とりわけ第10条では、家族はイスラム社会の根幹的な柱であるとして、すべての法律、規則、関連プログラムは家族形成を促進し、その神聖さを守り、イスラムの権利と道徳に基づいて家族関係の安定を保障しなければならないと強調されています。さらに第43条第1項では、すべての人が住居、食料、衣服、健康、ケア、教育、および家族を形成する機会という基本的ニーズを満たすことが、イスラム国家の義務と責任として位置づけられています。また、現代イランの文化と支配的な政策において、女性・母・家族の立場は常に尊重と評価の対象となっています。イランでは、ズィー・アル＝ヒッジャ月25日が「家族と退職者への感謝の日」として公式カレンダーに登録されています。この日が選ばれた理由は、家族とその基盤の強化を取り扱うスーラ・アル＝インサーンの「ハル・アタ」節への敬意によるものです。さらに、イランの文化と伝統において、女性の立場は常に重要であり、これは現代においても、特にイスラム共和国の時代においても続いています。過去45年間、イランの女性は科学、芸術、スポーツ、経営など様々な分野で卓越した成果を収めてきました。このセクションでは、イランの女性の功績と貢献を簡単に振り返ります。



ボーラーン――サーサーン朝時代のイラン初の女王。



今日のイラン家族

歴史的資料によると、かつてのイランの家族は、婚姻の神聖さ、配偶者選択における年長者への敬意、若い年齢での結婚、離婚の拒絶などの価値観にいっそう強く従っていました。カージャール朝の時代以降、イランへの近代化の波とその広まり、そして西洋の文化と思想の影響の受容により、変化が生じました。今日、婚約と結婚に関する意思決定における個人主義の影響が顕著に見られます。工業化、都市化、発展と相まって、子どもたちは結婚年齢の決定においてより大きな独立性を持つようになり、相手の選択においても同様です。結婚の様相も新たな形を取るようになっています。かつては親や年長者によって提案され、あるいは仲介者を通じて行われていた配偶者の選択は、今日ではある場合には職場や学習の場、あるいは時にバーチャルな環境での相互知己を通じて行われています。近代思想の基本的な柱の一つである幸福の進歩とともに、配偶者選択の基準もまた、生活の初期から完全な幸福を確保することと、ある程度必要な機会を提供することへの注目に基づいています。そのため、独立した家の所有と高い経済的能力が女性とその家族の要求リストの一部となっており、一方で女性が学び働くことへの願望は、ある意味で結婚年齢の上昇をもたらし、自然と人口出生率の低下を引き起こしています。

統計によると、約40年の間に、イランの世帯数は増加期を経た後、減少し始めました。構造的観点から見ると、イランと西洋の家族にはいくつかの違いがあります。イランでは、父・母・子どもからなる家族の完全な側面に焦点を当て、政策もこの方向に従っています。一方、西洋諸国ではこのような見方はなく、家族という言葉は子どもを持つ人々のあらゆる形態の共同生活を意味し、すべての生活モデルが受け入れられています。イスラム共和国憲法の多くの条項、第10条を含め、家族はイスラム社会の根幹的な柱であるとして、すべての法律、規則、関連計画は、家族の教育を促進し、その神聖さと、イスラムの権利と道徳に基づく家族関係の安定に配慮しなければならないと主張されています。また第43条第1項では、住居、食料、衣服、健康、ケア、教育、および各人が家族を形成できる機会という基本的ニーズを確保することがすべて、イスラム政府の義務と責任として挙げられています。イランでは、太陰暦のズィー・アル＝ヒッジャ月25日が「家族と退職者への感謝の日」として公式周年行事としてカレンダーに加えられています。この日が選ばれた理由は、家族と家族の基盤の安定を扱うスーラ・アル＝インサーンの「ハル・アティ」節への敬意によるものです。







イラン女性の政治・社会・経済参加

科学と教育におけるイラン女性イランの女性は教育と研究において目覚ましい進歩を遂げ、国の科学・学術界の形成において重要な役割を果たしています。現在、女性は全国の大学において学生人口の56%を占め、高等教育における強い存在感を示しています。この進展は教員の間にも見られ、大学教授の35%以上、医学系の教授の40%が女性です。教育分野では、女性が教員の根幹を支えており、全国の教師の60%が女性です。科学技術への参加の増加は、現在784分野で利用可能な技術・工学系学科へのアクセスの拡大によっても裏付けられています。さらに、イランの女性は革新にも大きく貢献しており、国内の発明家の24%を占めています。







識字率と教育の平等イランの識字プログラムにより、10歳から49歳の人々の間で97%という印象的な識字率が達成され、教育における歴史的な格差が大幅に縮小されました。男女間の識字率の差は6.1%未満にまで縮まり、都市部と農村部の格差は現在11%です。
さらに、小学校と中間レベルの両方において、全国規模で男女間の教育格差が解消され、男女ともに平等な学習機会が確保されています。女子の教育は目覚ましい進展を遂げており、小学校への入学は115%、中学校は84%増加しました。全体として、女子生徒の数は男子生徒と比較して48%増加し、教育を通じた女性のエンパワーメントを目指す国家政策の成功を反映しています。学術分野、研究、イノベーションへのイランの女性の積極的な参加は、社会・経済の発展を牽引し続け、国の発展の重要な担い手としての役割を強化しています。
保健・衛生・医療におけるイラン女性イランの女性は国の医療制度において決定的な役割を果たし、医療サービス、母子保健、疾病予防に大きく貢献しています。女性は全国の産婦人科医の98%を占め、全分娩の95%が女性専門家によって行われることを保障しています。さらに、10万人の女性に対して60人の助産師と2.8人の産婦人科医がおり、母体医療へのアクセスが強化されています。
女性は専門医の40%、一般医の30%を占め、国の全医療従事者の半数を担っています。女性の参加は、イランが世界で子宮頸がんの罹患率が最も低い国の10位に入っていることや、母体死亡率が10万出生あたり16件にまで低下していることに貢献しています。
子どもの健康も改善されており、新生児死亡率は10万出生あたり8.2件に、5歳未満の乳幼児死亡率は10万出生あたり14.2件にまで低下しています。予防医療への取り組みにより、子どもの95%に対して完全なワクチン接種が達成され、母乳育児は1歳未満の乳児の90%、1.5歳までの80%、2歳までの40%に広く普及しています。
さらに、政府はすべての農村地域に対して包括的な医療保険を実施し、最も遠隔地のコミュニティでも基本的な医療サービスへのアクセスを確保しています。平均寿命が78歳まで延びる中、イランの女性は公衆衛生、医学研究、患者ケアの発展を推進し続け、国のより健康な未来を形成しています。



イラン女性の政治・社会的参加

イランの女性は市民社会において重要な役割を果たし、NGO（非政府組織）、協同組合、慈善活動に積極的に参加しています。女性問題を扱うNGOは2,733団体あり、そのうち63%が社会・文化分野、30%が技術分野、41%が慈善活動に注力しています。

協同組合における女性のリーダーシップも重要であり、女性が主導する2,000の協同組合が経済・社会発展を支援しています。さらに、女性は教育においても顕著な貢献をしており、全国で6,000の学校建設慈善団体を率い、1,330の慈善学校の建設を主導しています。女性のコミュニティ福祉への取り組みは、恵まれない地域での100のスポーツクラブ建設にも見られ、より健康で包括的な環境を促進しています。政治・社会的取り組みへの積極的な参加を通じて、イランの女性は地域コミュニティと国の発展への取り組みの両方を強化しながら、進歩を促進し続けています。



協同組合における女性のリーダーシップ

イランの女性は科学、ビジネス、起業家精神においてますます指導的な役割を担い、様々な分野の経済発展を推進しています。現在、女性は国立実験室ネットワークの1,424の実験室のうち345を管理しており、実験室リーダーシップの24%を占めています。知識経済における女性の存在感も拡大しており、904人の女性が最高経営責任者を務め、303社の企業が女性によって議長職に就かれ、250社の知識ベース企業が女性によって設立されています。さらに、2,390人の女性がこれらの革新的企業の取締役会員であり、70社のアクセラレーター企業が女性幹部によって運営されています。



協同組合と起業家精神における女性の参加も重要であり、全国で5,776の協同組合が女性によって運営されています。女性雇用主の数は32,783人に達し、女性は2,000の協同組合を通じて土地、機械、天然資源へのアクセスを拡大しています。経済的包摂をさらに支援するため、政府は雇用希望者を市場の機会に結びつける家族指向の持続可能なビジネスのための国家計画を推進しています。様々な産業における女性の雇用分布は、労働力における女性の役割の増大を反映しています。
2022年には、次のような割合を示しています：民間部門の雇用の74.5%　公共部門の雇用の25.5%　サービス部門の雇用の57.5%　工業部門の雇用の25.5%　農業部門の雇用の17.2%持続可能な開発への取り組みも農村や遊牧民の女性のエンパワーメントに焦点を当ててきました。60,000人以上の農村・遊牧民の女性が2,000の農村・遊牧民協同組合のメンバーであり、中小企業を支援するために4,200の超小規模基金が設立されています。
毎年、農村部や遊牧民地域出身の300,000人以上の女性が起業家精神と持続可能なビジネス慣行に関するトレーニングを受けています。社会保護も拡大されており、専門の農村・遊牧民女性、主婦、女性が世帯主の3人以上の子を持つ家庭への社会サービス保険が適用されています。さらに、2022年には行政機関の予算の1%が女性問題に充てられ、女性・家族問題担当副大統領のための特別資金と並行して提供されています。失業率が16%まで低下する中、イランの女性はその経済的影響力を高め続け、より包括的でレジリエンスの高い経済を形成しています。






RENAULT

政治・権力・意思決定におけるイラン女性

イランの女性は政治・指導的役割において重要な進展を遂げており、様々なレベルでの統治と意思決定を積極的に形成しています。重要な政策として、政府機関内で女性顧問に副局長級ポストを割り当てることが義務付けられており、リーダーシップにおける女性の代表性が高まっています。女性は選挙においても重要な役割を果たしており、大統領選挙の有権者の49%、農村・都市部のイスラム評議会選挙第6ラウンドの候補者の49%を占めています。女性の政治参加は増加を続けており、直近の評議会選挙では女性候補者が2%増加し、5,000人以上の女性が政党や政治グループに積極的に参加しています。

司法界では、1,121人の女性が裁判官として勤務し、法制度と司法の行政に貢献しています。さらに、女性は現在全国規模で行政長官職の30%を占めており、公行政における女性の影響力の増大を反映しています。統治における女性の役割は高レベルの意思決定評議会にまで及んでおり、女性の代表性が戦略的優先事項となっています。女性の政治的関与をさらに強化するため、政策は執行機関の取締役会への女性の参加を義務付けており、女性は全国の市・村評議会において引き続き積極的な役割を果たしています。

こうした発展を通じて、イランの女性は政治的リーダーシップ、統治、政策立案においてより強固な存在感を確保し、国家発展の主要な担い手としての役割を強化しています。


IRI








KPNP


G.KHALAJ
6

スポーツにおけるイラン女性

イランの女性はスポーツにおいて目覚ましい功績を収め、国内外で強い存在感を示しています。女性アスリートは様々な国際大会で3,900以上のメダルを獲得しており、第13期政府の発足以来900以上の世界メダルを含みます。女性の成績は向上し続けており、2023年に国際大会への女性参加率が37.1%増加し、アジア大会のメダルが149.1%増加し、国際大会での優勝が同年に203%増加しました。
競技成績以外にも、女性のスポーツ参加は様々な役割に及んでいます。現在、934,589人の女性がプロスポーツに積極的に参加しており、150,384人の女性がスポーツコーチとして活躍しています。また96,998人の女性審判員、8,965人のトレーナー、そして女性体育館で働く16,111人のスタッフも存在します。
スポーツガバナンスにおけるリーダーシップも高まっており、51人の女性がスポーツ連盟の会長・副会長を務め、70人の女性が州レベルの管理委員会を率い、103人の女性が国際スポーツ連盟のポストを確保しています。これらの功績は、競技スポーツとリーダーシップポストの両面でのイランの女性の役割の拡大を示しており、未来のアスリートとスポーツ専門家の道を切り開いています。

芸術とメディアにおける
イラン女性

イランの女性は文学、出版、映画、メディアの分野に強い存在感を築き、国の文化的景観に大きく貢献しています。
23,543人以上の女性作家と1,051人の女性編集者を擁し、女性は文学の世界の形成において主要な役割を果たしています。さらに、435人の女性が全国の印刷・出版事務所を所有・経営しており、そのうち153人がテヘランに拠点を置いており、国内で最も集中度が高くなっています。
文学分野は拡大を続けており、181,479人の女性が書籍出版の作業ライセンスを持ち、2,336人の女性がメディア編集者として勤務しています。過去5年間だけでも、1,708人の女性がメディア編集者としての作業ライセンスを取得し、ジャーナリズムと放送での役割をさらに強化しています。女性は映画と舞台芸術においても重要な進歩を遂げています。
現在、903人の女性がアクティブな映画製作者であり、2,000人の女性が映画産業の舞台裏でプロの役割を果たしています。女性映画監督は114の国内賞と128の国際賞を受賞し、その功績は広く認められています。
さらに、イランの女性映画監督は45の国際映画祭で審査員として招待されており、世界映画への影響力を示しています。デジタル・テクノロジー分野においても女性の参加増加が見られ、IT分野での女性参加が31.5%増加しました。文学、映画、メディア、デジタル分野への影響力が高まる中、イランの女性は国内外で芸術とクリエイティブ産業を形成し続けています。






صبحانه ایران




IRNA
Marzieh Mousavi
Canon



技術・情報・通信へのアクセスにおける女性の割合

イランの女性は技術へのアクセスと利用において大きな進歩を遂げており、携帯電話、コンピューター、インターネットの利用における割合が増加しています。現在、2,600万人の女性が携帯電話を利用しており、国内の携帯電話ユーザー全体の45%を占めています。さらに、1,450万人の女性がコンピューターを利用し、コンピューターユーザー全体の48%を占め、1,870万人の女性がインターネットに接続しており、全国のインターネットユーザーの48%を占めています。

デジタルと文化的分野においても、女性はビジネスの設立と運営において先導的な役割を果たしています。

合計122の作業ライセンスが女性によって経営される実在の法人に発行され、129の作業ライセンスがデジタル・文化分野の法人格に付与されており、進化する技術・デジタル産業における女性の参加増大を反映しています。
これらの統計は、イランの女性が技術とデジタルイノベーションを積極的に取り入れ、情報通信技術分野での役割をさらに促進している重要な進展を示しています。








SNN
Bahar Ghaderi

環境保護と危機管理におけるイラン女性の役割

イランの女性は国の環境保護への取り組みにおいて重要な役割を果たし、主要なリーダーシップポストに就き、危機管理と災害救援において積極的に行動しています。16年間にわたり、女性が国家環境機関の長官を務め、環境ガバナンスにおける女性のリーダーシップを象徴しています。さらに、女性は環境分野の大規模管理職の4分の1を占め、国家環境機関の副長官の40%が女性であり、環境政策決定における女性の卓越した役割を示しています。

女性はまた、農村・遊牧民女性を特に支援することを目的とした標準化された製品の生産と消費の促進・開発などの国家環境イニシアチブの実施にも積極的に参加してきました。自然災害などの環境危機においては、女性は支援と復興への貢献において重要な役割を果たしてきました。
2021年には、地震被災地の女性の一時的な住居として20,166のシェルターが提供され、洪水被災地の女性には21,014のシェルターが提供されました。気候変動に関連する課題に直面している人々をさらに支援するため、気候変動の影響を受けた299,120人以上の女性に月次手当が支給されました。
住居と経済的支援以外にも、災害地域の女性に水、食料、衣類、毛布などの基本的なニーズが配布されており、地震被災地の20,912人の女性と洪水被災地の117,072人の女性が支援を受けました。2021年全体では、危機に直面した女性に対して合計229,778,139,530リアルが現金給付として支出されました。

これらの取り組みは、環境リーダーシップにおいても、環境災害に見舞われたコミュニティへの実質的な支援においても、イランの女性が果たす不可欠な役割を如実に示している。


T.V



女性の社会保障保障に関するイラン政府の立法上の措置

イラン政府は様々な立法レベルで保障を制定することにより、女性の社会保障を確保するための重要な措置を講じてきました。これらの保障は、女性の権利と福祉の確保への取り組みを反映しており、国の憲法、開発計画、政策に組み込まれています。憲法自体が女性の社会保険へのアクセスを確保するための基本的な枠組みを提供しており、国の法律・社会制度における平等と公正の重要性を強調しています。この観点から、政府は性別平等の原則をより広い開発目標に組み込み、女性が生涯を通じて必要とする安全と支援を提供することを目指しています。憲法上の規定に加えて、開発計画と政策も女性の社会的安全を確保するための戦略の策定において重要な役割を果たしてきました。

これらの計画には、教育と雇用から医療と家族福祉まで、生活のあらゆる側面で女性をエンパワーメントすることを目的とした長期的な目標が含まれています。これらの政策は、差別に直面することなく、また不安なく社会に完全に参加できるよう、女性のための包括的で支援的な環境を構築するという国の責任を強調しています。

社会的権利を実現するための女性の権利の発展は、これらの構造的な枠組みを通じて積極的に追求されています。

より詳細な立法レベルでは、女性の社会保険を確保するための明確な保障を提供する特定の法律が制定されています。これらの法律は、雇用保護、医療へのアクセス、経済的安全などを含む広範な権利をカバーしています。法的基準を設定することにより、政府は女性の社会保険の権利が認識されるだけでなく、法的に執行可能であることを確保しています。これらの法的規定は、差別を防止し、社会保険の問題における女性の平等な扱いを確保するために不可欠です。さらに、女性のための社会保険の保障の実施を確保する規則が制定されており、現行の法律を補完しています。

これらの規則は、政策を実際にどのように適用するかについての詳細なガイダンスを提供し、女性の社会保険へのアクセスが単に理論的なものではなく、具体的で利用可能なものであることを確保しています。

また、規則は女性が権利を主張できる手続きを定め、制度内の透明性と説明責任を確保しています。これらの措置は、法律に規定された権利と保障を執行するための実際的なツールを提供しています。

これらの権利の効果的な実施を確保するため、社会保障に関する規制の遵守を強制するための制裁が設けられています。
これらの制裁は、政府機関と民間機関の両方が女性の社会保険の権利を遵守する責任を負うよう設計されています。
非遵守に対する制裁を課すことにより、政府は女性の権利の保護と、女性が社会保険の給付に完全にアクセスできることを確保するという取り組みを強化しています。

最後に、政府は女性の社会保険を規定する権利の実現に貢献するための財政クレジットを割り当ててきました。これらの資金は、社会サービス、医療、経済的機会への女性のアクセスを支援するプログラムとイニシアチブに振り向けられています。
これらのイニシアチブへの財政支援を提供することにより、政府は社会保険の権利が立法的に保障されるだけでなく、十分なリソースを通じて実際に支援されることを確保しています。
この財政的コミットメントは、女性がエンパワーメントされ、国家が提供する保護と機会から最大限に恩恵を受けられることを確保するための鍵です。




IRAN (ISLAMIC REPUBLIC OF)

現代イラン女性の目を通して　ファリサ・ネクーマネシュ・ラード氏インタビュー　「夢は現実になった」

インタビュー：ゼイナブ・ラステガルパナ

ファリサ・ネクーマネシュ・ラードは1981年5月5日に生まれ、イランの国際ダイビングインストラクター兼パイロットであり、以下の栄誉を自らのものとしてきました。国内の海上・航空スポーツにおけるギネス世界記録保持者。完全なヒジャブを着用してイランとパキスタンの空域境界線を飛行し、イランの航空領空防衛と近隣諸国との友好の印としてイランの国旗を掲揚した記録保持者。完全なヒジャブを着用してオマーン海とインド洋のイランの海上国境で水深40～80メートルのダイビング記録を持ち、イランの海上国境防衛と近隣諸国および全世界との平和と友好の印としてイランの国旗を設置した記録保持者。手を使わずにアザディ湖の零度の水温の中を1000メートル泳ぎ、障害者と8年間の聖戦の退役軍人への支援を示した記録保持者。そしてダイビング記録の保持者。



ファリサ・ネクーマネシュ・ラードはイランのホラズミー大学で運動行動学の修士課程に在籍し、体育学の修士号も持つ。彼女はイランの人々への愛ゆえに空と海を制覇したと、断固とした誠実な言葉で幾度も語ってきた。

以下のネクーマネシュ・ラード氏へのインタビューは、彼女の人物像と卓越した活動についてより深く知ることを目的としています。
「イランに生まれたときから、私は自分の国を、そこに生きる人々を、その空を、カスピ海とペルシャ湾の深みを愛してきた」
この分野に興味を持ったきっかけと、選んだ動機を教えていただけますか？

子どもの頃、雲を見上げ、空の壮大さと寛大さを目にするたびに、いつも空の懐に抱かれ、星や月、太陽、惑星の傍にいることを夢見ていました。風と共に旅し、空気の層を渡り歩きたいと思っていました。そこでの生活はとても美しいに違いなく、誰も私に追いつけないだろうといつも思っていました。鷲のように飛ぶことが夢でした。言い換えれば、それを仕事として捉えたことは一度もなく、それは私の情熱でした。イランでは、スポーツは仕事とみなすことができません。なぜなら、ダイビングクラブや飛行学校を持つためには多くの資本が必要だからです。私は、愛する国イランの素晴らしい人々に、大きな愛と苦労をもって飛行とダイビングを教えた教師でした。

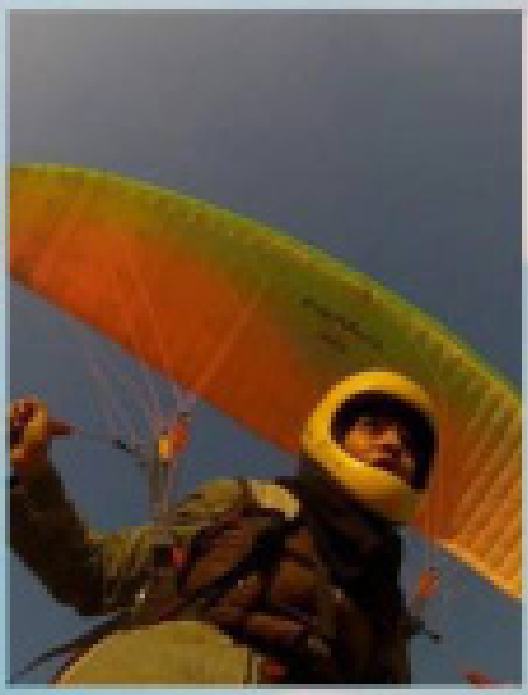
愛と情熱は、お金や仕事や他のあらゆるものよりも重要です。生徒たちは私の子どものようであり、私は愛を持って何千人もの子どもたちを教えてきました。私の動機は、海で溺れる人の命を救えるようになることであり、何千人もの人を溺れから救ってきました。私の動機は、海と空の深みで誰もが得られる美しい体験を他者に教えることでした。

イランの社会や文化的構造は、成功した女性としての目標を達成する上での障壁になりましたか？

決してありません。世界のどこにいても、私はダイバーとパイロットになっていたでしょう。それは空への愛と情熱、海の深みへの愛、そして神への愛でした。どうしてそれが私の中から離れることができたでしょうか？それは私の体の組織に浸透していました。イランに生まれたときから、私は自分の国を、そこに生きる人々を、その空を、カスピ海とペルシャ湾の深みを愛してきました。私は、私たち人間は望むものを何でも達成できると信じています。
重要なのは、私たちの揺るぎない決意と努力です。有能でありたいという意思を持つことが重要です。そうでなければ、私はフライトとダイビングを本当に愛していなかったでしょうし、NASAでさえそれを追い求めなかったでしょう。設備は重要ですが、それはおよそ10%程度であり、残りの90%は情熱を持ち、自分にできるという信念を持つことです。











これまでどのような障壁や困難に直面し、どのように乗り越えてこられたか教えてください。

実は、障壁はたくさんありました。しかし私は才能ある少女だったので、すべての授業を素早くこなし、国際インストラクターになりました。イタリア人とフランス人の教官の前で試験を受け、クラスで首席になりました。私はまだ若く、世間からは子どもと見られていました。しかし専門家として自分の活動を示すことで、そうした思い込みを乗り越えることができました。多くの人が、女性はスカイダイビングをしてはいけない、ダイビングに関わるべきではないと信じていました。性差を信じる人々も大勢いました。しかし、ギネス世界記録に記録された私の記録が、そうした考えへの力強い答えとなりました。私は自分の作品を最高指導者の事務局に送り、評価を受けました。IRIBが承認した服装規定を守りながら、私はイランテレビで映像と写真の放映が認められた国内唯一の女性となりました。やがて人々はファリサを知り、強い意志を持つイランの海と空の娘が、イランとイラン人のために世界に誇りをもたらしたと知るようになりました。

服装規定やヒジャブはあなたの前進の妨げになりましたか？

どの国にも守るべき法律があり、私は自国イランの法律を尊重しています。ヒジャブは私の妨げになるどころか、むしろ前進を助けてくれました。なぜなら、誰も私の性別を気にしなくなり、みんなが私の職業、パイロット、ダイビング、記録、救った命の数、言い換えれば私の英雄的な行為に目を向けるようになったからです。ヒジャブは私を忍耐と持久力の伝説にしました。私が自国の女性の名を空に刻んだとき、ヒジャブは海と空の危険から守る安全の源となりました。ヒジャブはファリサの忍耐の空を生み出し、ファリサの自己犠牲の海を生み出しました。

夢の実現と向上を目指すイランの女の子や女性たちに、何かアドバイスはありますか？

私のアドバイスはイランの女の子だけでなく、世界中の女の子に向けたものです。愛する皆さん、神のご助けのもと、意志があれば方法は必ず見つかります。私たちは人間であり、性差を成功の妨げにしてはなりません。腐った考えが崇高な目標の実現を阻むことを許してはいけません。私たちの女の子たちは聡明で力強く、世の中に美しい結果を残すことができます。それは何世紀にもわたり、あるいは永遠に続くかもしれない結果です。

前進への道のりで選んだ理想像とキャラクターは何でしたか？すべての女の子の理想像は母親です。私の母は、空と海への愛と情熱の源でした。母のおかげで今の私があります。私の母と、娘たちの強い支えとなる世界中のすべての母親たちに、平和と祝福を。私は誇りを持って母に伝えたいと思います。「ママ、あなたはファリサに自分自身と神を知る力を教えてくれた。そしてあなたを母として持つことで、最も困難な使命もスムーズに成し遂げることができた」



pr@icro-jp.org
www.iranippon.jp